

Catch ... キャッチボール ... Ball

2

2022

February

Vol. 904

～INDEX～ 【特集】令和3年産農作物を振り返る … 1～7

● 青年部通常総会開催ほか … 8 ● 女性部感謝祭開催ほか … 9 ● フォトだより … 10 ● 理事会だより … 11



11/10 JA農業資材課の樋口大貴職員が成人を迎え、成人式の「二十歳の誓い」で今後の抱負を発表しました



令和3年産 農産物を振り返る

JJAびばい管内の基幹作物である水稻をはじめ小麦・大豆・その他園芸作物の生育状況などを振り返ります。

今年度の営農の参考にお役立てください。

水稻

『気象経過と生育状況』

1 融雪と耕起作業

令和3年の積雪は地域間差が大きい状況となり、積雪が多かった地域では、融雪期が平年より5日程度遅れた。地域全体の融雪期は、3月下旬に急速に融雪が進んだことにより平年並の4月7日だった。(空知農業改良普及センター本所調べ)。以下の生育期節も同様。

2 は種作業

は種作業は平年よりやや遅く行われ、は種期は4月24日(遅3日)となつた。

3 育苗

出芽期は4月29日(遅2日)となり、は種から出芽までの日数は平年の5日間だった。苗の生育は概ね平年並の進度だったが、5月3半旬以降の高温により徒長苗が散見された。

4 移植作業

ほ場準備が順調に行われ、苗の生

育も平年並となつたことから、移植期は平年並の5月22日となつた。移植

5 初期生育

移植期前後は高温で推移したため、活着は平年よりやや良好だった。

5月下旬の低温寡照の影響で、生育は一時的に緩慢となつたが、その後は気温・日照時間共に概ね平年並みや高く推移した。そのため分けつ発生が旺盛となり、6月15日時点の茎数は平年対比139%となつた。

6 前歴期間・冷害危険期

幼穂形成期は、平年よりやや早い6月30日(早2日)となつた。

前歴期間も冷害危険期にあたる7

表1 「ななつぼし」の苗素質(中・成苗平均)

	R3年	平年	差・比率
草丈(cm)	14.6	14.2	0.4
葉数(枚)	3.6	3.7	-0.1
第一鞘高(cm)	3.0	2.6	0.4
茎数(本)	1.3	1.5	-0.2
乾物重(g/100本)	2.9	3.5	83%
充実度(乾物重/草丈)	0.20	0.25	81%

表2 「ななつぼし」の生育経過

調査月日		草丈(cm)	葉数(枚)	茎数(本/m ²)	遅速日数
6月1日	R3年	20.1	4.5	108	0日
	平年	17.4	4.6	100	
6月15日	R3年	29.3	6.9	275	早1日
	平年	27.7	6.7	198	
7月1日	R3年	47.7	9.1	696	早2日
	平年	43.1	8.8	563	
7月15日	R3年	67.9	10.5	701	早2日
	平年	62.9	10.2	719	

表3 「ななつぼし」の生育期節

	活着期	分けつ始	幼穂形成期	止葉期
R3年	5月27日	6月7日	6月30日	7月16日
平年	5月28日	6月7日	7月2日	7月18日
遅速	早1日	0日	早2日	早2日
	出穗始	出穗期	出穗崩	成熟期
R3年	7月21日	7月25日	7月29日	9月7日
平年	7月25日	7月29日	8月2日	9月14日
遅速	早4日	早4日	早4日	早7日

れている。
平年より多収で、タンパク値は低い傾向だった。外観品質は平年並となつたが、遅れ穂の発生に伴う青未熟粒・青死米の混入が見られた他、登熟期間の高温により乳白粒・腹白粒や胴割粒が散見された。

10 いもち病
11 カメムシ

全体的な発生は無く、被害は認められなかつた。

トラップや捕虫網による調査の結果から、発生量は多い傾向がみられた。斑点米は、適期防除の実施によ

582キロ、作況指数107と発表さ
北海道農政事務所による南空知の
収量(12月8日公表)は、10a当たり
北



令和3年産 農産物を振り返る

り全体的には混入は少なく、局所的な発生となつた。
12 紋枯病（疑似紋枯症含む）
発生が散見され、止葉まで病徵が進展した被害は場も見られた。



表4 「ななつぼし」の収量構成要素

育苗 様式	m²穂数 (本/m²)		1穂粒数 (粒/穂)		m²総粒数 (粒/m²)		稔実歩合 (%)	
	R3年	平年比	R3年	平年比	R3年	平年比	R3年	平年比
中苗	657	108%	55.7	96%	36,600	104%	94.3	101%
成苗	620	106%	62.9	103%	39,000	109%	95.3	102%

令和4年度に向けて

- 1 茎数確保のため初期生育促進
融雪促進を進め、停滞水をすぐに、ほ場外へ排出し、乾田化を図り、早期異常出穗ができるようにする。

令和3年は、成苗ポットを中心には種休み等の作業時期の改善を組み合わせつつ、育苗期間後半はハウスのつま面や裾を開放し換気に努める。

移植は大苗や老化苗を回避し、中苗3・1、成苗3・6葉頃から植え始める。また極端な低温や強風時の移植は避ける。

2 硝素施肥量の適正化

窒素施肥量を決めるに当たっては、適正量を見極めることが大切。土壤診断の結果とこれまでの生育、タンパク質含有率、収量の実績を考慮した施肥とする。

活着後は浅水管理を行う。ただし、極端な低温や強風予報の場合は、前日から深水にする。ワキや濁りがひどい場合は中干しや水の入れ替えを実施する。

4 本田水管理②

冷害危険期終了後は開花直前まで中干しする。登熟初期に高温が続く場合は、か

んがい水の掛け流しにより地温と稻周辺温度の低下を図る。

登熟中期の落水は、出穂期後25日前以降に行うのが原則だが、ほ場の排水性、穗揃いの状況や登熟状況をよく観察し、天気予報も考慮しながら、落水時期を検討する。収穫の10日前頃までは土壤表面に大きな亀裂が入らないことを心がける。落水後は、入水や排水を容易にするため、早期に溝切りを行う。

秋まき小麦(きたほなみ)

1 は種々出芽（R2年秋期）

令和3年産秋まき小麦のは種始は、平年より2日早い9月7日だった。その後の降雨では種期は3日遅った。9月21日だったが、は種終は9月29日（平年差-1日）で概ね平年並だった。

出芽期は9月27日で平年より3日遅くなつた。出芽後の生育は順調に進み、越冬前の葉数はほぼ平年並の6・2葉、pm当たり茎数は平年より17%多い、1,510本/pmとなつた。

根雪始は平年より2日早い11月7日で、融雪期は平年より1日遅い4月7日で、積雪期間は131日と、平年よりも日長くなつた。最深積雪では205cmに達し、平年値97cmを大きく上回つた。

登熟初期に高温が続く場合は、かきく上回つた。

表1 生育期節と生育状況（きたほなみ越冬前後）

	R 3	平年	遅速
は種始	9月7日	9月9日	早2日
は種期	9月21日	9月18日	遅3日
は種終	9月29日	9月28日	遅1日
出芽期	9月27日	9月24日	遅3日
根雪始	11月27日	11月29日	早2日
越冬前葉数	6.2葉	6.3葉	-0.1葉
越冬前茎数(本/m²)	1,510本	1,286本	+224本

（平年差+1.1%）、穂長は89cm（平年

越冬茎数は平年より少なく、その後も平年よりやや少ない値を推移し、成熟期の穂数は736本/pm（平年差-56本/pm）となつた。稈長は79cm（平年

ふたご座 全体運：ピン！とひらめきのある月です。企画力がありますから新しい提案を行って吉。古い物は大切に。リメークを

健康運：痛みが出やすいかも。膝、腰は集中的にケア

幸運の食べ物：キンメダイ

あうし座 全体運：頭の痛いことが多そうですが、「雨降って地固まる」となるとき。慌てず交渉に当たりましょう。

買い物運は良好

健康運：頑張りが利きます。休憩で肩の力を抜いて

幸運の食べ物：セリ



令和3年産 農産物を振り返る

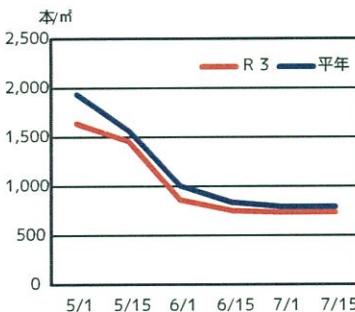


図1 秋まき小麦茎(穂)数の推移(作況調査)

①輪作の実施（最重要）連作を避け、4年以上の輪作の実施、緑肥の導入検討
②健全種子の使用（自家採種を使わない）

表2 秋まき小麦の生育期節と遅速（きたほなみ越冬後）

	R 3	平年	遅速
融雪期	4月7日	4月6日	遅1日
起生期	4月7日	4月7日	0日
幼穂形成期	5月2日	5月2日	0日
止葉期	5月27日	5月26日	遅1日
出穂期	6月6日	6月3日	遅3日
成熟期	7月15日	7月16日	早1日
収穫始	7月19日	7月20日	早1日
収穫期	7月22日	7月23日	早1日
収穫終	7月26日	7月28日	早2日
登熟日数 (出穂期～成熟期)	39日	43日	少4日

年差 -0.3%だった。
収穫作業は好天に恵まれ、順調に進んだ。登熟状況は平年並だつたが、品質は良好となり、収量も多くなつた。
登熟日数は短かつたものの、期間中の日照時間は長く284時間に達し、平年より33時間長く、収量向上に貢献したと考えられる。

年差 -0.3%だった。

4 病害

赤さび病の発生はみられたが、新剤による防除などにより上位葉まで病斑の進展はわずかだった。

令和4年度に向けて

令和4年産小麦のは種作業は、は種始が9月7日（平年差+1日）、そ

の後も作業は概ね順調に進み、は種終は9月27日（平年差+1日）だった。10月15日現在の生育は平年並に進み、草丈は18.5cm（平年差+0.6cm）、葉数は40葉（平年差±0葉）pm当たり茎数は459本（平年差-18本）だった。

近年、起生期の茎数を鑑みた施肥管理を行うことで小麦の受光態勢を改善し、多収につながった事例がみられる。令和4年産においても、生育状況を確認しながら適切な施肥管理に努める。

2 なまぐさ黒穂病対策

令和3年産においても北海道内各地で発生を確認していることから、引き続き出穂期頃からの圃場観察を徹底し、発生拡大を防ぐ。

発生を抑えるための対策は次のとおりです。

①輪作の実施（最重要）連作を避け、4年以上の輪作の実施、緑肥の導入検討

②健全種子の使用（自家採種を使わない）

- ③種子消毒の実施
- ④適期は種（遅まきをしない）
- ⑤適正なは種深度（深まきをしない）
- ⑥登録薬剤の散布（ただし耕種的防除と組み合わせることが前提）
- ⑦発病リスクが高い場合は対策を講じた上で、翌年の見回りを徹底するなど見逃しのないように心がける。

登熟は平年並で、品質は良好、多収

とされた。秋まき小麦と同様に登熟日数は短かつたものの、期間中の日照時間は長く340時間に達し、平年より74時間長く、収量向上に貢献したと考えられる。

3 その他

融雪促進に努めるとともに、額縁明きよや補助暗きよを施工し、透排水や排水不良だけでなく低pH土壤が考えられる。土壤診断に基づづく石灰質資材の投入を検討する。

3 病害

うどんこ病の発生が散見されたが、生育・収量に及ぼす影響は大きくなかった。

20本/pmとなつた。稈長は81.2cm（平年差+3.2cm）、穂長は8.5cm（平年差+0.3cm）だった。

登熟は平年並で、品質は良好、多収となつた。秋まき小麦と同様に登熟日数は短かつたものの、期間中の日照時間は長く340時間に達し、平年より74時間長く、収量向上に貢献したと考えられる。

3 病害

うどんこ病の発生が散見されたが、生育・収量に及ぼす影響は大きくなかった。

表1 春まき小麦の生育期節と遅速（初冬まき栽培）

	R 3	平年	遅速
は種終(R2)	11月9日	11月13日	早4日
幼穂形成期	5月14日	5月14日	0日
止葉期	6月1日	6月1日	0日
出穂期	6月9日	6月9日	0日
成熟期	7月23日	7月27日	早4日
収穫期	8月2日	8月4日	早2日
収穫終	8月5日	8月7日	早2日
登熟日数 (出穂期～成熟期)	44日	48日	少4日

しし座 全体運：ちょっとびっくりの連絡がありそう。真偽が気になるときはしっかり確認を。笑い話にできるかはあなたの対応次第

健康運：健康への関心の高まりがプラスに働きます

幸運の食べ物：アンコウ

かに座 全体運：気持ちのそわそわがミスを招きがち。深呼吸やつぼ押しで平常心を保って。下旬からは上昇運。積極的に行動を

健康運：刃物の取り扱いは慎重に。ばんそうこうを常備幸運の食べ物：キウイ

令和3年産 農産物を振り返る

積雪期間が長いと越冬率が低下するため、融雪材散布による融雪促進に努める。

散布時期：散布適期は最高気温が0°C以上の続く日(3月1日～10日頃)

散布資材：アッシュ類、融雪炭カル等40～60キロ／10a

*散布後15日以上的新雪が積もった場合は再度散布する。

*ばらまき栽培では凍上害を回避するため、極端に早い融雪材散布を避ける。

融雪後、ほ場に入れるようになつたら直ちに窒素肥料を施用する。

排水性の悪いほ場では、額縁明きよの設置を検討する。

秋まき小麦と同様に低pHより生育不良となる事例が見られるので、春まきや令和5年産の予定ほ場では、種前に土壤診断を実施し、適宜pH矯正を行う。

令和4年度に向けて

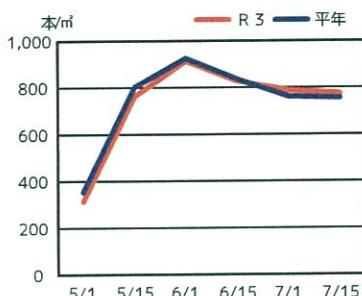


図1 春まき小麦茎(穂)数の推移(作況調査)

『生育経過』

大豆のは種作業は平年より4日早く始まったが、他作物との作業の影響や断続的な降雨により、は種終は5日遅くなつた。

気温は、は種直後の5月6半旬は平年よりも低めだったが、6月以降は平年よりも高めに経過した。生育は平年並に回復し、出芽は平年並となつた。

2 開花期

出芽期以降の生育は高温多照で過し、開花始は平年より2日、開花期も同様に2日早くなつた。

7月3半旬～8月1半旬は、極端な高温かつ23日間（7月9日～8月1日）降雨がなかつた影響で生育は停滞し、開花時期と重なつたため、着莢数は平年比85%となつた。

3 成熟期、収穫作業

生育期間全般で気温が高く、9月以来の気温は平年並となつたが、多照、少雨で推移し、葉の黄変、葉落ちが平年よりも早く、成熟期は平年より4日早まつた。また、粒大は小さい傾向となつた。

収穫作業は、降雨等の影響もなく、平年よりも早く行われた。

4 病害虫

かび等の被害粒の発生は適切な防除により、ほとんどみられなかった。

大豆(ユキホマレ)

1 は種・出芽

大豆のは種作業は平年より4日早く始まったが、他作物との作業の影響や断続的な降雨により、は種終は5日遅くなつた。

気温は、は種直後の5月6半旬は平年よりも低めだったが、6月以降は平年よりも高めに経過した。生育は平年並に回復し、出芽は平年並となつた。

令和4年度に向けて

表1 大豆の作業・生育期節と遅速(ユキホマレ)

	R3	平年	遅速
は種始	5月15日	5月19日	早4日
は種期	5月31日	5月28日	遅3日
は種終	6月9日	6月4日	遅5日
出芽始	6月2日	6月5日	早3日
出芽期	6月10日	6月10日	0日
開花始	7月14日	7月16日	早2日
開花期	7月16日	7月18日	早2日
成熟期	9月18日	9月22日	早4日
収穫始	9月26日	10月4日	早8日
収穫期	10月3日	10月13日	早10日
収穫終	10月14日	10月22日	早8日

に、早歩き程度で、しっかりと深くいれることが重要。事前の準備が必要。

令和3年の生育経過と農作業状況

(空知農業改良普及センター作況定期)

は種作業は、積雪が多い中、は種

は平年よりも遅くなつたが、は種終は平年並なつた。2月下旬は低温寡照で経過したため、出芽期は3日遅くなつた。

たまねぎ(北もみじ2000)

表1 たまねぎの生育概要(空知農業改良普及センター作況値)

	生育概況							
	5/15	6/1	6/15	7/1	7/15	8/1	8/15	9/1
草丈(cm)	R03	12.9	24.8	48.5	70.5	74.8	56.1	
	平年	13.4	22.8	46.3	73.3	80.9	68.7	
葉数(枚)	R03	2.1	4.2	6.5	8.0	8.3	5.5	
	平年	2.0	4.2	6.4	8.6	8.8	7.3	
葉鞘茎(mm)	R03	3.7	7.4	12.7	18.6	17.9	16.1	
	平年	3.4	6.6	11.2	17.8	19.5	16.7	
球径(cm)	R03					5.4	6.9	7.0
	平年					4.9	7.1	7.5
遅速日数		±0	+1	+1	+5	+3	+1	+1

に、早歩き程度で、しっかりと深くい

れることが重要。事前の準備が必要。



おとめ座 全体運：何かと頼られることが多く大変ですが発展的です。できないことはあなたからもお願いを。ギブ＆テークで大成功

健康運：無理をしないで。食事は消化の良い物を幸運の食べ物：野沢菜



おとめ座 全体運：あなたの細やかな気配りが周囲を和やかにします。自信を持ってほほ笑んで。気になることも解消に向かいます

健康運：体調＆体力回復のチャンス。検査も有効です

幸運の食べ物：セロリ

令和3年産 農産物を振り返る

降雨により活着は良好だった。しかし5月4半旬には66ミリの降雨があり一部ほ場で葉の黄化症状が見られた。6月上旬から高温多照少雨で経過したため球肥大期は平年より5日早となつた。7月も高温多照少雨で経過したため球肥大は抑制され、倒伏期は平年より早1日となつた。移植期からの倒伏期までの生育期間は平年より4日短くなつた。

表3
R03 平年 遅速(

表3 たまねぎの農作業期（空知農業改良普及センター作況値）

	農作業期									
	は種始	は種期	は種終	移植始	移植期	移植終	根切り期	収穫始	収穫期	収穫終
R03	2/17	2/25	2/28	4/22	4/27	5/4	8/16	8/9	8/20	9/1
平年	2/16	2/22	2/28	4/18	4/24	5/1	8/19	8/14	8/31	9/14
遅速(日)	-1	-3	±0	-4	-3	-3	+3	+5	+11	+13

表4 たまねぎの収量調査（空知農業改良普及センター作況値）



図2 たまねぎほ場におけるネギハモグリバエ捕殺頭数の推移
(本所管内 6カ所平均)

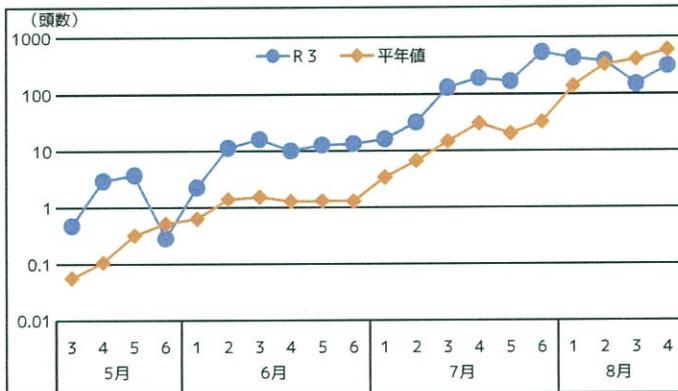
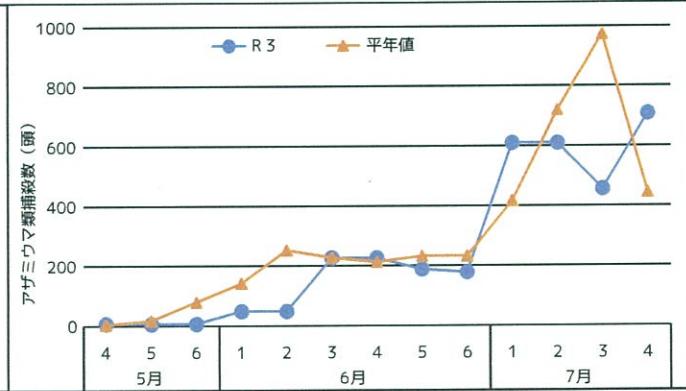


図1 たまねぎほ場におけるアザミウマ類捕殺頭数の推移
(JAびばい管内2カ所平均)



『生育経過』
1 ハウス作型
3月下旬～4月上旬に収穫が始
まつたほ場は、気温、日照に恵まれ、
萌芽は良好であった。収量は前年並
み多くかつた。4月中旬～下旬に収
穫が始まつたほ場は、気温が低かつ
たため萌芽が鈍かつた。

立莖中は、5月の日照不足により
立莖枝の擬葉展開が遅く、生育は遅
れ気味であつたが、6月から好天が
続いたことにより、6月下旬から夏

アスパラガス

春先、積雪が多い場合、育苗ハウス内に融雪水が浸透しないよう、明きよなどを設置する。ほ場の融雪遅れによる定植作業の遅れは、老化苗定植による活着不良や初期生育不良となるため、融雪促進を図る。

令和3年のような少雨年では、地下かんがいが有効。活着後から球肥大期の期間で10ミリ以上の連続降雨が1週間以上なく、かつ1週間以内にまとまった降雨が見込まれないときには、深さ20cmに水位を設定し1日間行う。設備があるほ場では検討する。

収穫後には、サブソイラやアラソイラなどで耕盤層の破壊をしておく。物理性の改善に努める。

令和4年度に向けて

11月座
全体運：良好運です。食事や趣味を楽しむ時間が増え、交友関係も発展的。おしゃべりの時間を大切に。旅行の計画が吉
健康運：腹八分目を心掛け医者いらすで過ごして
幸運の食べ物：ゴボウ

さそり座 全体運：前半はつまずくことが多いですが、次第に解消。気持ちがせくときほど丁寧に進めるよう心掛けて。下旬は逆転運
健康運：口コミの食材や健康法を試してみて
幸運の食べ物：アカガレイ



令和3年産 農産物を振り返る

3 株養成期の生育

夏芽の萌芽は良好で、収穫量は7月中旬にかけて多くなった。しかし、7月中旬～8月上旬の高温により頭部の開きが多発し、製品率が低下した。8月中旬の低温により萌芽数が減少し、若茎の曲がりが発生した。9月に入つてからは昼夜の寒暖差が大きく、萌芽が回復しないまま収穫が終了した。

立莖中は高温と少雨のため、立莖の草丈は低く、擬葉が小さくコンパクトな草姿であった。

夏芽は、7月下旬から萌芽が始まつたが、干ばつのため萌芽数が少なく、若茎のほとんどに開きが発生した。8月中旬の降雨により萌芽は見られたが、降水量が少ないことに加え、低温が続いたため、萌芽が回復することなく収穫が終了し、夏芽は著しく減収した。

慣行栽培は、6月中旬～8月上旬の少雨と7月中旬～8月上旬の高温、8月中旬の低温により、初期立莖時の生育量から2次萌芽以降の最終的な生育量は、大きく増えることがなく、小さかつた。

4 病害虫の発生状況

斑点病は、全期間を通して発生は少なかった。

疫病は、春芽収穫中に発生が見られたが、その後の発生は見られなかつた。

茎枯病は全期間を通して発生が少なかつた。

令和3年 秋季生育調査結果 (JAびばい管内、11ほ場調査)						
作型	草丈(cm)	有効莖		GI	斑点病発病指數	根中糖度(%)
		莖数(本/m)	莖径(cm)			
ハウス	197.4	12	1.33	3,203	1.2	22.6
露地	立莖	173.7	15	1.19	3,101	1.0
慣行		173.2	20	0.99	3,430	1.0
						25.3
						26.8

草丈：トッピング実施ほ場含む 有効莖：莖径 0.5cm 以上の健全莖
GI：平均草丈 × 1m 当たり莖数 × 平均莖径
斑点病発病指數 0：発病なし 2：病斑が認められ、一部落葉、黄化
4：株の 1/2 以上が黄化、落葉

芽の萌芽が始まった。

夏芽の萌芽は良好で、収穫量は7月中旬にかけて多くなった。しかし、7月中旬～8月上旬の高温により頭部の開きが多発し、製品率が低下した。8月中旬の低温により萌芽数が減少し、若茎の曲がりが発生した。9月に入つてからは昼夜の寒暖差が大きくなり、萌芽が回復しないまま収穫が終了した。

2 露地作型

4月下旬～5月上旬の低温により萌芽が遅れ、揃いも悪かった。

前年に茎枯病が発生したほ場は、萌芽数が少ないことに加え、若茎は細く、減収した。

立莖中は高温と少雨のため、立莖の草丈は低く、擬葉が小さくコンパクトな草姿であった。

夏芽は、7月下旬から萌芽が始ましたが、干ばつのため萌芽数が少なく、若茎のほとんどに開きが発生した。8月中旬の降雨により萌芽は見られたが、降水量が少ないことに加え、低温が続いたため、萌芽が回復することなく収穫が終了し、夏芽は著しく減収した。

生育調査は9月下旬、根中糖度は11月に行つた。

茎葉の黄化は11月上旬から一気に進み、風による倒伏が少なく、されに黄化した。

根中糖度は、高かつた平成26年よりも高かつた。

なかつたが、8月下旬以降に萌芽した茎葉への罹病は目立つた。

各種害虫の発生は、全体的に多くはなかつたが、8月下旬以降にアザミウマ類の寄生と食害が目立つほ場があつた。

令和4年度に向けて

1 かん水は、遅れずにしっかりと行う

令和3年は6月下旬以降の少雨に高温が重なり、通常年のかん水量や収量が著しく低下した。一度ほ場を乾かしてしまふと、水が浸透しうくなることに加え、萌芽が回復するのに時間がかかるてしまう。

ハウス作型は、7月中旬～8月

旬は収穫最盛期となるため、ピークに向けてかん水と同時に追肥を、遅れず十分与える。また、露地作型も可能であれば、かん水する。

「栽培マニコアル」より

(基本をチェック!)

○畦の表面は常に湿った状態を保つ(過湿に注意)。

○表面が白く乾いたらかん水する(翌朝、通路に水が溜まらないよう水量を調節する)。

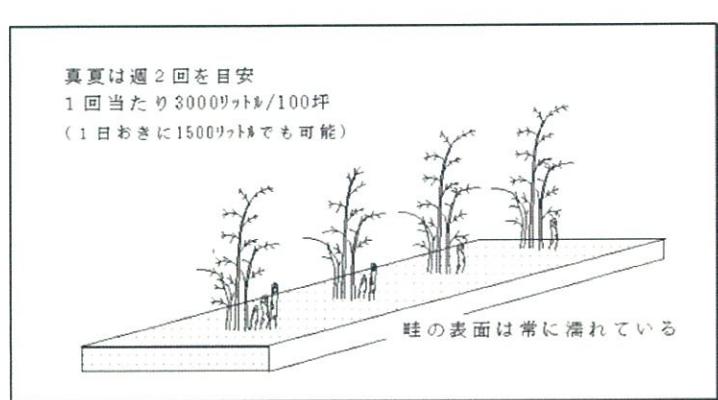
○畦上かん水又は全面かん水方式(畦上と通路を同時)とする。

○畦上かん水の場合、3回に1回は全面かん水をする。

水分計を使用する場合のかん水開

2 病害虫防除の徹底

7月中旬～8月中旬は、各種害虫



の発生が増えるため、重点防除時期である立莖栽培は収穫ピーク時、慣行栽培は2次萌芽し、成莖となる時期であるため、この時期は必ず防除する。

毎年、病害虫の発生が多いほ場は、晚秋に茎葉残渣物を刈り取り、ほ場外への搬出を検討する。

始点は、p.17(深さ20cm)が良い。株付近の土壤の状態は、「軽く握ると土団子が容易に作れる」程度。土壤を握った感触はしつとりして手のひらがうつすらと濡れる程度。



みずがめ座 全体運：太陽の恵みを受け運気はパワフル。多少強引でもやり遂げたいことに着手する好機です。可能な範囲で周囲に配慮を
健康運：保温靴下などで足元を温めれば安泰
幸運の食べ物：キョウナ



やぎ座 全体運：良い話も面倒な話もまとめてやって来そう。どちらも受け入れ調整しながら進めて。あなたの手腕が光ります
健康運：頑張りが利きます。やり過ぎには注意を
幸運の食べ物：ユリ根

令和3年産 農産物を振り返る

ハスカップ

『生育経過』

記録的な降雪により、枝折れが多く発生した。

4月下旬から5月上旬の低温により展葉が遅く、平年より5日遅い5月8日に開花始めを迎えた。

6月中旬までは適度な降雨により、果実の肥大は良好であった。

収穫は6月21日から始まった。収穫が始まつてからは、高温のため収穫が一気に進み、2段目後半以降は、干ばつによる過熱や落果、果実のしづれが発生し、収穫期間が短く、昨年よりも収量は少なかつた。

収穫終了後も8月中旬まで高温と少雨が続き、土壤の乾燥による葉や枝の枯れが発生した。

病害虫は、灰色かび病の発生は見られなかつたが、アブラムシ類は例年同様に収穫が始まる頃から発生が目立つた。

令和4年度に向けて

1 夏秋期の剪定

8月以降は翌春の花芽が作られ、養分を蓄積する大事な時期となる。夏季は日陰をつくる新梢を間引き、樹幹内に日が届くようにする。秋季は、老朽化した過繁茂な主軸枝や、樹高が高く伸びすぎた枝の切り戻し、害虫が寄生した枝の除去などを実行

4 風対策

防風網の設置による風対策を行い、着果と収量の安定を図る。



い、作業性の良い骨格づくりを行つ。

2 土壌の乾燥防止

浅根性であるため、特に固い土壌の園地は、土壤乾燥による枯れが発生しやすく、また、果実の肥大には水を必要とする。株元に敷きワラなど有機物マルチによる乾燥防止や、令和3年のように高温、少雨の場合は、積極的にかん水を行う。

3 害虫の防除

アブラムシ類は落花傾から果実の着色期を中心に、防除を行う。

ミズキタカイガラムシの被害が多い園地は、発芽前に機械油乳剤95を散布する。

ナガチャコガネムシは6月下旬頃から成虫となって羽化する。薄暗くなつてからオスのみが地面すれすれを飛び、メスを見つけ交尾し、すぐに土中に潜る。本虫に使用できる農薬がないため、成虫の発生時期に捕殺して発生密度をできる限り下げる。

ハスカップは使用できる農薬が少ないため、病害虫の被害にあつた葉や枝は、速やかに除去するなど耕種的防除に努める。

園芸全般

令和4年度に向けて

い、作業性の良い骨格づくりを行つ。

令和4年度に向けて

令和3年は高温、少雨で経過した。ハウス栽培では、「いつも通りのかん水量」でも不足する状況が見られた。

天候と作物の様子をよく観察して、かん水量を調整する。また、気象に左右されない健全な作物生産には、土づくりが必須となる。堆肥の施用、緑肥作物のすき込みなどにより地力増進を図る。

化学的防除(薬剤防除)

に当たつては、使用時期や回数など適正使用基準を遵守し、ドリフトなどによって他の作物に飛散しないよう注意する。特に、防除機は使用後すぐに洗浄し、次回に使う際に薬剤が残らないようにする。

【文責】アスパラ・ハスカップ・農産園芸課

その他：空知農業改良普及センター

各作物の詳しい内容については、担当部署までお尋ねください。

《水稻・小麦》

米 菜 課 TEL 63-0526

《大豆・玉ねぎ・アスパラ・ハスカップ》

農産園芸課 TEL 63-0527



電子版創刊!!
購読料1ヶ月
2,623円(税込)



お申込は
農業推進課へ!
TEL 63-2165



**地域と農業
暮らし支える
新鮮情報
お届けします。**

購読のお申込みはJAへ
購読料 1ヶ月2,520円(税込)
協同の輪を広げ 自己改革を進めよう JAグループ情報共有運動

モナ・カサンドラ【プロフィール】占いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解説・探求。コンピュータによるホロスコープ作成の道を開いた。現在は執筆活動を始め、さらなる占星の研究を重ねている。

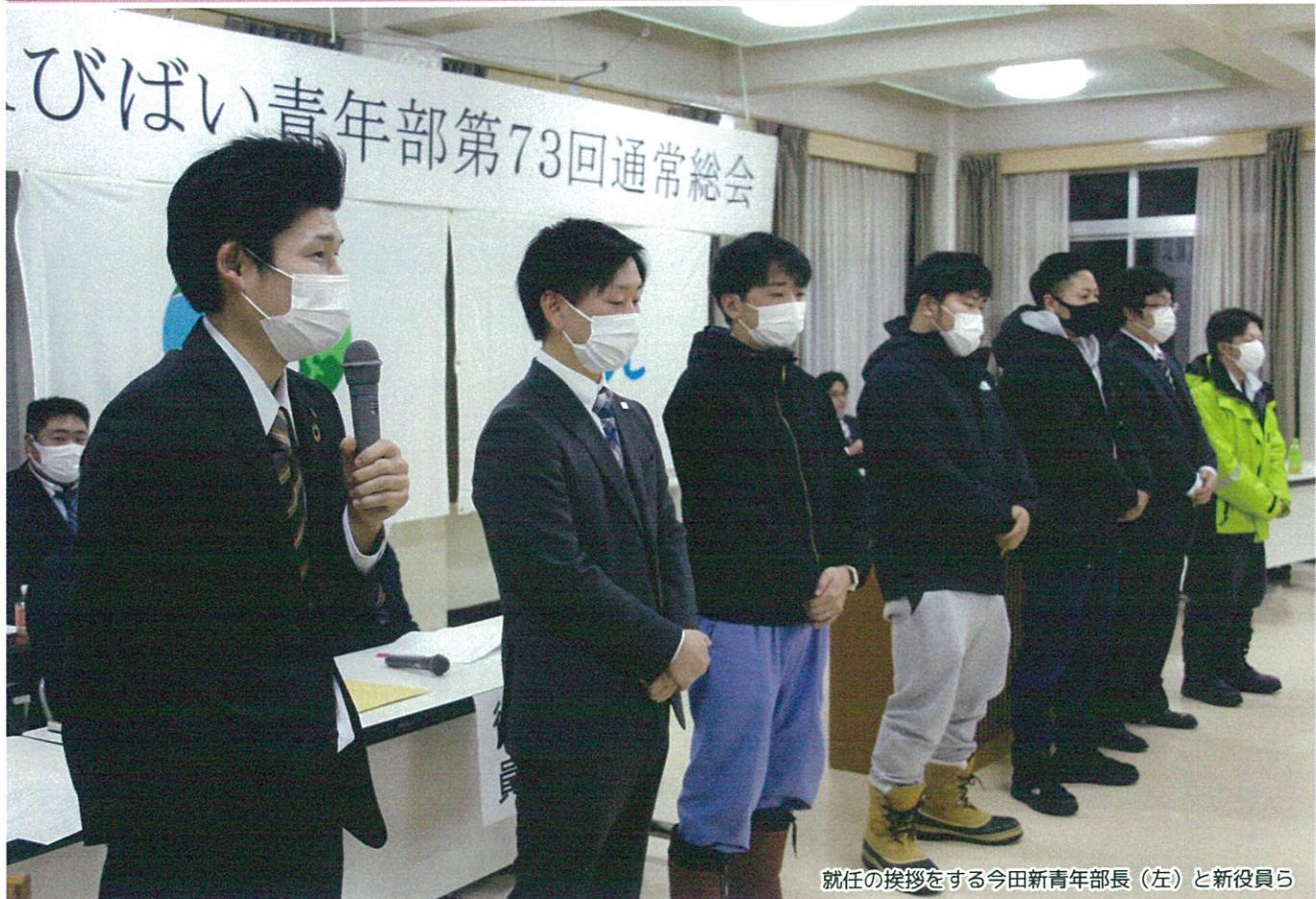
ルネ・ヴァン・ダール研究所 <http://www.rene-v.com/>



全体運：スロースタートの上昇運です。徐々に結果が見えてきますから修正、改良しながら丁寧に進めていきましょう

健康運：人の集まる場所ではしっかり感染予防を
幸運の食べ物：ワラビ

新青年部長に今田雅之氏（北美唄）



就任の挨拶をする今田新青年部長（左）と新役員ら

青年部は令和3年12月22日、JA3階大会議室で第73回通常総会を開き、新部長に今田雅之さん（前副部長）を選んだ。総会には委任状を含む部員41人が出席した。

開会で土屋陽輔部長は「例年通りの活動はできなかつたが、盟友が協力し合い状況に合わせた活動を実施できた。今後も新しいスタイルを確立し活動を展開したい」と挨拶した。岸定代表理事組合長は「今はインターネットが当たり前になり、集う意義が希薄な情勢。盟友が一丸となる取り組みはJAとして積極的に応援する」とエールを送った。

総会では令和4年度事業計画など全6議案を原案通り可決。今田新部長は「盟友の意見を取り入れよりよい活動をしたい」と決意を述べた。

同部は10月の臨時総会で事業年度期間の変更や役員定数の削減、委員会制の廃止などを盛り込んだ議案を可決。1月1日より新体制をスタートさせる。

部長以外の新役員は次の通り。

- 副部長＝藤原 友和（再・沼の内）
山角 翔太（新・開発）
- 理事＝早川 隼兵（新・発）
渋谷英太郎（新・山形）

●監事＝星一輝（新・上美唄開拓）
小野幸光（新・沼の内）

内に飾られる。

岸定代表理事組合長が「年神様を迎える豊作を願うしめ飾りは、振興局にこそ飾ってもらいたい」と手渡すと、白石局長は「良い年になるよう我々も努力したい」と笑顔で受け取った。

贈り続けて14年 手づくりしめ飾り



左からJA西川賢宮農部長、振興局吉川政英副局長
白石局長、岸組合長



市民へ感謝の 気持ちを込めて

女性部は令和3年12月15日、コアビバイの展示ギャラリーで感謝祭2021を開催し、女性部員の手づくり品やしめ飾り、ドライフラワーなどを美唄市民に販売した。

今回は5グルーパが出店し、それぞれ個性豊かな手作り品を出品した。毎年恒例のしめ飾りやさまざまな種類の豆のほか、マスクチャームやブローチなども販売。フレッシュミズ部会も出店し、ピアスやネックレスなどのアクセサリーが市民から好評を得ていた。また商品の購入者には紅白もちも配布。感謝祭は大盛況のうちに幕を閉じた。

西田由美子女性部長は「多くの市民に足を運んでいただけてとても嬉しい。今後も続けていきたい」と笑顔で話した。

例年開催していた収穫祭おぼろづきでは、豊穣の秋を迎えたことに感謝し、市民と喜びを分かち合うため、新米おにぎりや女性部特製の豚汁、漬け物などを無料で配布。コロナ禍により2020年からは、人が多く集まる試食の無料配布や抽選会、ビンゴゲームを自粛している。

JJAや美唄市へ しめ飾り寄贈

女性部役員は令和3年12月7日、美唄市の板東知文市長とJJAびばいの岸定代表理事組合長を訪問。美唄産おぼろづきの稻わらを使って手作りしたしめ飾り「福亀」を贈った。しめ飾りの寄贈は今回で17回目。

全長70cmの華やかなしめ飾りを「今年もとても大変な1年だった。来年は笑顔で過ごせるよう豊作はもちろん、みなさんの健勝を願っています」と西田由美子女性部長が板東市長と岸組合長に手渡すと、両者とも笑顔で受け取った。



純農B.O.Y 空知地区代表に

青年部は令和3年11月22日、深川市で開催された第41回空知管内JA青年部大会に出席した。

同大会では純農B.O.Y空知地区代表に輝き、12月の北海道オーディションに駒を進めたが、惜しくもグランプリは逃した。純農B.O.Yは北海道農協青年部協議会が主催し、農業や青年部活動に情熱を持った盟友を発掘。グランプリ受賞者は広告塔として活動する。





青年部がAコープコア店で新米デカ盛弁当購入者を対象に、新米雪蔵工房おぼろづき2kgをプレゼント。そち JAグループ北海道が米の消費拡大を目的に実施する新米デカ盛弁当と美唄産米をPRした。(12/03)



岸定組合長が美唄市が主催する「子どものいる風景フォトコンテスト」の表彰式に出席。JAひばい賞の受賞者におぼろづき10kgを手渡した。また米麦課の古賀智史職員の作品がJAみねのぶ賞に選ばれた。(12/04)



フレッシュユミズ部会がJA1階加工研修室でピザづくり講習会を開催し、部会員5名が参加。元村の丸子幸司さんを講師に迎え、ピザ生地やトマトソースの作り方など丁寧に教わった。(12/06)



美唄市グリーンアスパラ生産組合がJA3階大会議室で令和3年産精算報告ならびに出荷反省会、栽培講習会を開催し、組合員19名が参加。終了後の懇親会で互いの労をねぎらい合った。(12/07)



女性部がタオル一本運動を実施。集まったタオル106本と紙おむつなどを、養護老人ホーム恵風園などに届けた。和田辰也園長は「コロナの影響でタオルの寄贈数が減っているのでとても助かる」と話した。(12/07)



美唄農業情報システム研究会がJA3階大会議室で美唄市農民協議会と合同のソリマチ講習会を開催し、農業者29名が参加。基本的な操作方法などを参加者に指導した。(12/21)



プロフィール

市田繁樹・公子さんの長男（7人家族）
平成9年12月4日生
趣味 カラオケ・音楽・古着・絵・夜景
作付 水稻・小麦・大豆

こよみ・行事

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

- 10日 ○自己査定
- 監事会
- 11日 ○建国記念の日
- 信用事業リスク管理強化委員会
- 14日 ○企画会議
- 常務委員会
- 15日 ○定例理事会
- コンプライアンス委員会
- 16日 ○臨時企画会議
- 18日 ○常務委員会
- 19日 ○臨時理事会
- 21日 ○期末監査2 ~25日迄
- 23日 ○天皇誕生日
- 28日 ○決算監査

上美唄開拓 市田大さん (24)

自分らしさを大切にやりがいのある農業を

- Q 就農のきっかけは?
- 農業にやりがいを感じたから
- Q 就農して思ったこと
- 父親の偉大さ
- Q 今の農業をどう思いますか?
- 近年の異常気象に加えて、コロナによる経済への影響など、様々な側面から対策や予測を立てて行動することが大事だと思った

- Q これから抱負
- 自分らしい色を持つた農業を宮崎でいきたい
- Q 行ってみたいところは?
- ◇ 沖縄県
- Q お酒は?
- ◇ カルーアミルク、カシスソーダ
- Q 好きな言葉か座右の銘は?
- ◇ やればできる

マイカーローン キャンペーン

正・准組合員の方は
お借入金額に応じて
ポイント還元!

J Aびばい
金融課融資係へ
ご相談ください

(C)よりぞう

J Aとのお取引状況により金利を引き下げ 令和4年1月1日現在
保証料 0.70%込

変動金利 基準金利 年 3.40% (通常 年 4.30%)	最大引き下げ 年 1.0%!!	年 2.40%
固定金利 基準金利 年 3.80% (通常 年 5.55%)		年 2.80%

※金利の適用に条件があります。詳しくは窓口にお問い合わせください

★修理車検代
★免許取得費・車庫建築費
★お借換
★バイク・除雪機購入
などなど!

↓お問い合わせはコチラ↓

J Aびばい
金融課 融資係 TEL
63-2163

お悔やみ申しあげます

美唄市農協生活改善
運動推進協議会

茶志内協和
▼吉村 進さん

十二月四日死去
(八十二歳)

茶志内協和
▼武下ミツさん

十二月十二日死去
(九十二歳)

沼之内
遠藤 ハナさん

十二月二十日死去
(九十二歳)

私の心「え……」

教科書を取りに行くのがめんどく

さい長女は一か八か「ママわかる?」「
と分数の答えを聞いてきます。長「3
と3／5をひとつ分数にしたら?」

私「18／5:じゃない……?」長
「ほら!パパ!!合ってるよ!!!」
教科書確認しなさい「私の心「え……」

ママが「いい」と思ってます!」
「ママが「いい」と思ってます!」
結果は正解。まあパパの気持ちも
わかりますよ。普段足し算もできな
いママですから。信用できないです
よね。にしたってその言い方!(笑)



女性部活動に参加してみませんか?

J Aびばい女性部は、中核を担うミドル層のほか、シニア世代が集まるシルバー部会、20~40代の子育て世代を中心のフレッシュユミズ部会の3つの柱で構成しています。それぞれの活動はもちろんのこと、共通の趣味を持つ部員による多種多様なサークル活動など、世代を超えて交流し、活動を楽しんでいます!

女性部

- 市民支援活動
- 農村女性講座開催
- 収穫祭開催
- 部員研修

などなど



かわいいしめ飾りづくりを体験

シルバー部会

- 社会見学
- 湯治旅行
- クリスマス会
- 100円朝ごはん

などなど



昼食を交えての懇親会

フレッシュユミズ部会

- 社会見学
- 手づくり講座各種
- 子どもと一緒にできる活動

などなど



大豆を使った手づくりクッキー講習会

お問い合わせはコチラ



JAびばい

営農推進課

TEL 63-2165